

新役職者紹介

越智 光一
工学部長行動力に優れた
情熱家

一九七二年本学の大学院工学研究科修士課程修了。以後、専任講師、助教授を経て、九五年教授に昇任。工学博士。

専門は高分子材料であるが、特にエポキシ樹脂の権威として知られ、エポキシ樹脂と無機材料とをハイブリッド化した高性能性素である。大学は今、将来構想を十分に練って、進むべき方向を決めて、具体的な向を明らかに示すことが強く求められている。工学部長代理、学生部長に引き続いての連任であるが、歴代工学部長の中では最も若い。体力があり、企画力・判断力・行動力に優れ、工学部改革の推進に力をつけていく。二十一年世紀を先導する工学部の舵取りを期待したい。

良永 康平
学生部長おあらかさと緻密さ
その手腕に期待

工学部長に就任した。このように、経済学部の良永教授は、学生部長に就任された。良永教授は、一九八一年に橋大で、E.U 諸国の経済統計と環境問題の経済統計への取込めについて研究なさっている。工学部長代理、学生部長に引き続いての連任であるが、歴代工学部長の中では最も若い。体力があり、企画力・判断力・行動力に優れ、工学部改革の推進に力をつけていく。二十一年世紀を先導する工学部の舵取りを期待したい。

グローバル感覚と
すぐれた行動力安部 誠治
国際交流センター所長安部 誠治
国際交流センター所長

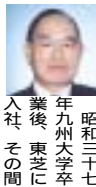
近年のグローバル化は、産官学のあらゆる分野で新しい発想と行動力を要請している。一國の枠組を越え、国際化が進む中、東西文化の比較研究がともに重要性を増しつつある時期、至極自然のことである。東西交渉史もフィールドワークの一つとされる教授は、東南アジア・インド・アフリカ沿岸諸国に言及した中国宋代の「諸蕃志」に注をほし、浙江と日本などの編纂を本研究所から出版された。加えて、達意の文章で「道宣伝の研究」(京大文学部出版)や「安部山(中公文庫)などの興味深い研究を次々に出版され、学界の高い評価を得ておられる。

藤真 眞澄
東西学術研究所長堅実な手腕を持つ
温厚な国際派

国際化が進む中、東西文化の比較研究がともに重要性を増しつつある時期、至極自然のことである。東西交渉史もフィールドワークの一つとされる教授は、東南アジア・インド・アフリカ沿岸諸国に言及した中国宋代の「諸蕃志」に注をほし、浙江と日本などの編纂を本研究所から出版された。加えて、達意の文章で「道宣伝の研究」(京大文学部出版)や「安部山(中公文庫)などの興味深い研究を次々に出版され、学界の高い評価を得ておられる。

新任教員紹介

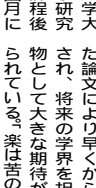
法学部

北川 俊光
教授

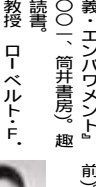
昭和三十九年九州大学卒業後、東芝に入社。その後、ハーバード大学ロースクールで法学修士(LLM)を取得。

藤原 裕弘
教授

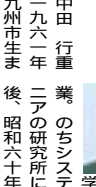
昭和三十二年、大阪生まれ。一橋大学大学院修了。

佐伯 和也
助教授

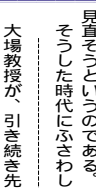
平成八年三月、関西大学大学院法学研究科修士課程修了。

中野 徹也
専任講師

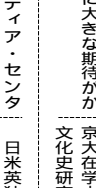
平成十一年、立大学大学院生活科学研究科後期博士課程満期退学。

宮城 豊
助教授

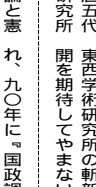
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

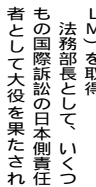
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

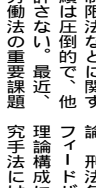
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

北川 俊光
教授

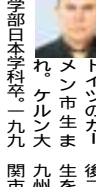
昭和三十九年九州大学卒業後、東芝に入社。その後、ハーバード大学ロースクールで法学修士(LLM)を取得。

藤原 裕弘
教授

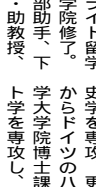
昭和三十二年、大阪生まれ。一橋大学大学院修了。

佐伯 和也
助教授

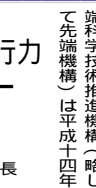
平成八年三月、関西大学大学院法学研究科修士課程修了。

中野 徹也
専任講師

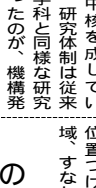
平成十一年、立大学大学院生活科学研究科後期博士課程満期退学。

宮城 豊
助教授

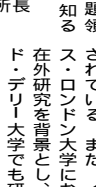
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

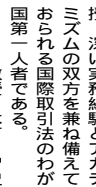
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

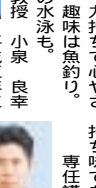
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

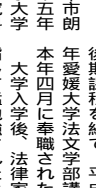
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

北川 俊光
教授

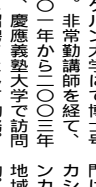
昭和三十九年九州大学卒業後、東芝に入社。その後、ハーバード大学ロースクールで法学修士(LLM)を取得。

藤原 裕弘
教授

昭和三十二年、大阪生まれ。一橋大学大学院修了。

佐伯 和也
助教授

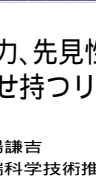
平成八年三月、関西大学大学院法学研究科修士課程修了。

中野 徹也
専任講師

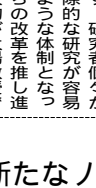
平成十一年、立大学大学院生活科学研究科後期博士課程満期退学。

宮城 豊
助教授

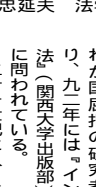
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

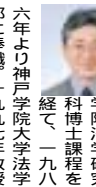
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

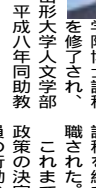
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

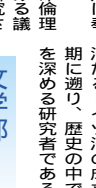
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

北川 俊光
教授

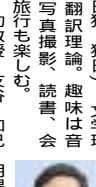
昭和三十九年九州大学卒業後、東芝に入社。その後、ハーバード大学ロースクールで法学修士(LLM)を取得。

藤原 裕弘
教授

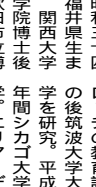
昭和三十二年、大阪生まれ。一橋大学大学院修了。

佐伯 和也
助教授

平成八年三月、関西大学大学院法学研究科修士課程修了。

中野 徹也
専任講師

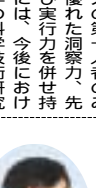
平成十一年、立大学大学院生活科学研究科後期博士課程満期退学。

宮城 豊
助教授

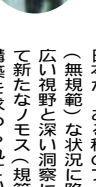
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

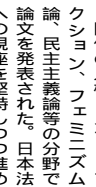
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

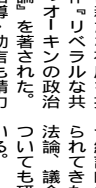
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

北川 俊光
教授

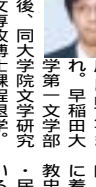
昭和三十九年九州大学卒業後、東芝に入社。その後、ハーバード大学ロースクールで法学修士(LLM)を取得。

藤原 裕弘
教授

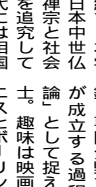
昭和三十二年、大阪生まれ。一橋大学大学院修了。

佐伯 和也
助教授

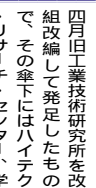
平成八年三月、関西大学大学院法学研究科修士課程修了。

中野 徹也
専任講師

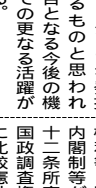
平成十一年、立大学大学院生活科学研究科後期博士課程満期退学。

宮城 豊
助教授

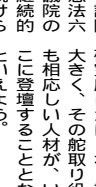
昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

宮城 豊
助教授

昭和三十九年、東北大学理学部卒業。

洞察力、先見性、実行力
を併せ持つリーダー大場 謙吉
先端科学技術推進機構長大場 謙吉
先端科学技術推進機構長

四月旧工業技術研究所を改組改編して発足したもので、その傘下にはハイテク・リサーチ・センター、学

新たなノモスの
探求者孝忠 延夫
法学研究所長孝忠 延夫
法学研究所長

権利と国民代表制・議院内閣制等が交錯する憲法六十三条所定の国会両議院の国政調査権に關し、継続的に比較法的考察を続けら

国際化が進む中、東西文化の比較研究がともに重要性を増しつつある時期、至極自然のことである。東西交渉史もフィールドワークの一つとされる教授は、東南アジア・インド・アフリカ沿岸諸国に言及した中国宋代の「諸蕃志」に注をほし、浙江と日本などの編纂を本研究所から出版された。加えて、達意の文章で「道宣伝の研究」(京大文学部出版)や「安部山(中公文庫)などの興味深い研究を次々に出版され、学界の高い評価を得ておられる。

孝忠 延夫
法学研究所長孝忠 延夫
法学研究所長孝忠 延夫
法学研究所長孝忠 延夫
法学研究所長孝忠 延夫
法学研究所長孝忠 延夫
法学研究所長孝忠 延夫
法学研究所長